

**令和元年度
元気創造まちづくり事業実施報告**

**令和元年度
栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例
行動計画における各課の取組み実績**

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金（元気創造まちづくり）事業

※実績報告により事業費が減額となる場合があります。

	事業名 実施団体	事業費 (助成額)	事業概要
3年目	栗東市ボランティア 観光ガイド育成事業 栗東市ボランティア 観光ガイド協会	200,000 円	平成 29 年度は、ガイド塾を開催して新会員・準会員の勧誘をはかり、新会員 10 人・準会員 13 人の成果がありました。平成 30 年度は、地域の伝統行事、ふるさとの祭りの取材を行い、市内中高生美術部にポスター作成を依頼して学生層の結び付きを深めています。助成金制度 3 年目の仕上げとして魅力あるガイド活動を企画します。 【湖南アルプス三山ハイキング】【郷土の伝統祭り紹介と観光ガイド】 【りっとう あいうえおカルタ】【栗東歴史ガイド冊子】の作成を行います。
1年目	こども立ち寄り ステーションふらっと ふらっと Ritto	108,255 円	中学校卒業や、高校中退などを機に、社会のサポート資源から断絶した子どもは、ますます社会参加の機会を失い、自己肯定感を下げ、自立に向けた歩みを止めてしまうことも少なくありません。そうした子どもたちに用意したいのが「こども立ち寄りステーション ふらっと」です。ここは、そのことば通り、“ふらっと”気軽に立ち寄ることが出来る「止まり木」のような、家でもなく学校でもない“第三の居場所”です。自分のペースで他者と関わり、エネルギーを充填し、その結果として自己肯定感と自己効力感が高まる…そんな場所でありたいと考えます。そしてここでの出会いや体験を機に、子どもたちが、もう一度歩みをはじめること、自立に向けた活動に必要な社会資源（人やもの、場所）と新たにつながっていける確かな橋渡しができることを目指します。
1年目	栗東市防災会 スキルアップ研修 栗東市防災会	139,650 円	災害は忘れた頃にやってくるという言葉があるが、近年は忘れる間もなく災害が発生している。びわこ西岸断層帯地震や南海トラフ地震の切迫性、気候変動の影響による水害リスクも高まり、まさに災害の時代に突入したと言っても過言ではない。これらのことから、災害に備えるとともに災害時などに対応できる研修会、講習会を実施し、個々のスキルを高める。また、地域での研修会やイベントでの活動支援を行い、地域住民の防災力を高めていく。
1年目	りっとう無花果コンサート 2019 栗東いちじく生産組合	200,000 円	栗東市の名産いちじくを内外に PR されるために開催されるコンサートシリーズ。いちじくに関する作曲家のエピソードを紹介するなど、毎年テーマを変えたオリジナルストーリーを元に開催される。 栗東いちじくの生産者や野菜ソムリエをステージに招き、いちじくの特徴や新しい食べ方を紹介するなど PR に努めている。 会館内カフェにて「りっとう無花果カフェ」を同時開催し、地元パシィエが考案したいちじくを使ったスイーツやケーキなどを賞味していただく。

【参考】地域振興協議会活動支援事業補助

事業名 / 実施団体	事業費	事業概要
【継続】 栗東駅前美化活動 大宝学区地域振興協議会	50,000 円	栗東駅前が、たばこの吸殻やポイ捨てが多く、また、雑草が多く見通しが悪く死角が出来て危険。学区民が力を合わせて快適な環境を創造し維持管理することで、安全で快適な環境づくりを目的に取り組む。子供から大人までが参加できる事業として、地域の情報交換やふれあいの場としても活動。 事業内容：毎月第2土曜日 8：30～9：30。栗東駅東口の草刈・ゴミ拾い。栗東駅東口に設置のプランターの花の植え替え（年2回）と管理。
【新規】 金勝里山魅力づくり事業 金勝学区地域振興協議会	50,000 円	中山間地に位置する走井は過疎と高齢化のため、個数14戸、住民44人と年々減少し、個人所有地の維持管理や、地域行事への出役が大きな負担となっている。里山の田園風景に溶け込むアジサイを植えることで地域住民の目を楽しませ、また地域の魅力を伝え、地域住民の活性化と環境美化推進によって、元気な街を作っていきたい。
【継続】 治田東学区 かまどベンチ交流事業 治田東学区地域振興協議会	50,000 円	平成25年度に元気創造まちづくり事業（地域振興協議会コース）を活用し、かまどベンチを設置した。設置から5年が経過し、自治会での利活用の状況を確認、課題を整理するため各自治会におけるかまどベンチの利用状況についてアンケートを実施し、防災意識の向上とコミュニティ活動の活性化につなげていく。

栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例行動計画における各課の取組み実績

1) 市政への参画

①パブリックコメント制度等の充実

取組み名	パブリックコメント制度等の充実
主な担当課	●：秘書広報課 ○：自治振興課
現状・課題	パブリックコメント等を実施していますが、十分浸透しておらず、広く市民への参画を呼びかけるなど制度の充実と周知を図る必要があります。
推進内容	パブリックコメントや市民説明会の実施時期や市民への周知、市民から提案された意見（各種アンケート等）の把握・精査、計画への反映など、市民にとって身近な制度となるよう充実に取り組めます。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>●パブリックコメントについては、広報紙、ホームページ、情報公開コーナー、担当課窓口、各コミセンにて周知を図り、より多くの市民から意見を集められるよう取り組みます。実施件数 13 件を目標とします。(秘書広報課)</p> <p>○平成 30 年度に実施した市民アンケートで「パブリックコメント制度について知っている」と回答した市民は 13%に留まりました。依然、制度が市民に浸透していないことから、身近な制度と知ってもらえるような表現など周知の仕方を工夫していきます。(自治振興課)</p>	<p>●パブリックコメントについては、広報紙、ホームページ、情報公開コーナー、担当課窓口、各コミセンにて周知を図り、より多くの市民から意見を集められるよう取り組んでいます。令和元年度は 16 件を実施予定です。(秘書広報課)</p> <p>○行動計画のパブリックコメントの募集においては、手続きの流れを図式で表示するなど市民に理解してもらえるよう工夫しました。さらなる工夫に取り組むとともに、市民アンケートにて提出された意見をどのように施策に反映したか、わかりやすい説明に取り組めます。(自治振興課)</p>

②広聴制度の充実

取組み名	広聴制度の充実
主な担当課	●：秘書広報課 ○：総務課、元気創造政策課
現状・課題	市政に対する意見や提案等を広く聴くことを目的として、市長への手紙や市長のこんにちはトーク、市長と気軽に栗東まちづくり座談会などに取り組んでおり、一定数の市民参加はありますが、全体としてはまだ多いとは言えず、市民参画を推進していくうえでは、市の情報開示や行政の見える化が必要であります。
推進内容	市民が容易に参画できるよう、市民ニーズを踏まえた広聴制度の充実に取り組むとともに、広く市政への参画を呼びかけます。また、市民の意見や提案について各部局で共有し、市民意見等を公開する制度の検討・実施や市政に反映する仕組みづくりに取り組めます。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>●「市長のこんにちはトーク」、「市長と気軽にまちづくり座談会」において、市長と市民の直接対話という貴重な機会を最大限に生かし、幅広い世代の方に参加いただき、多くの提案をいただけるような事業の工夫に努めます。こんにちはトークで 10 団体参加者 250 人、まちづくり座談会では参加者 200 人を目標とします。(秘書広報課)</p> <p>○情報公開制度にもとづき、行政の見える化に取り組めます。(総務課)</p>	<p>●「市長のこんにちはトーク」は 1 団体 12 名の参加、「市長と気軽にまちづくり座談会」は 4 学区 201 名の参加がありました。市長と市民の直接対話できる貴重な機会として、多くの市民に参加いただき、対話による行政への理解促進と市民の提案を市政に反映できるよう努めます。(秘書広報課)</p> <p>○情報公開制度にもとづき、行政の見える化に取り組まれました。今後においても、市の情報開示や行政の見える化に継続して取り組めます。(総務課)</p>

②広聴制度の充実（続き）

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>○第五次総合計画、第七次行政改革及び総合戦略の進行管理の進捗状況については、今年度においても HP 等における積極的な市民への情報開示を行い、市民の皆さんにとって出来るだけ分かりやすい情報掲載に工夫を重ねる中で、市民の市政への参画意識の向上が図れるよう努めます。（元気創造政策課）</p>	<p>○令和元年度においても、総合計画、行政改革、総合戦略、シティセールス戦略のそれぞれの取り組み内容、事業項目の進捗状況、および項目の評価等について、市ホームページへの概要および資料掲載により、市民への情報発信を行いました。</p> <p>今後も市民にとって出来る限り分かりやすい情報掲載に努めるとともに、市民の市政への参画についても関わりやすい環境を整えるなど、更に充実に向けた工夫が必要です。（元気創造政策課）</p>

③市政への市民参画機会の推進

取組み名	市政への市民参画機会の推進
主な担当課	●：秘書広報課 ○：自治振興課、元気創造政策課
現状・課題	市民が市政に参画する取り組みを実施していますが、計画や施策の策定時の実行・検証・見直しにおける市民参画をさらに求めていく必要があります。
推進内容	市政に市民の視点からの意見を反映させるため、計画や施策の策定における市民参画の確保、審議会等への市民参画、市民懇談会の開催等により、市政への市民参画機会を推進します。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>●広聴制度の充実を図るため、「市長への手紙」、「市長のこんにちはトーク」、「市長と気軽にまちづくり座談会」、「パブリックコメント」などを実施し、市民の意見・提案や市の対応・市政への反映について、共有化を図ります。（秘書広報課）</p> <p>○気軽に市政への意見ができるような周知の方法、仕組みを検討します。（自治振興課）</p> <p>○総合計画審議会、行政改革懇談会及び地方創生懇談会における委員については、幅広い関連分野の各種団体等から市政への参画機会の推進を図ります。特に昨年度から今年度にかけて「第六次栗東市総合計画」の策定を行うにあたり、例年の審議会委員（10名）に加えて、更に幅広い分野における関係団体等から、公募委員を含む特別委員（12名）を選任しており、今後一層、市政への市民参画の機会促進を図ります。（元気創造政策課）</p>	<p>●広聴制度の充実を図るため、「市長への手紙」、「市長のこんにちはトーク」、「市長と気軽にまちづくり座談会」、「パブリックコメント」などを実施し、市民の意見・提案や市の対応・市政への反映について、共有化を図ります。（秘書広報課）</p> <p>○市民参画等推進委員会において市民参画の方法等について、さまざまなご意見を頂戴しました。いただいたご意見をもとに、気軽に市政への意見ができるような手法や仕組みについて検討します。（自治振興課）</p> <p>○総合計画審議会、行政改革懇談会、地方創生懇談会及びシティセールス戦略会議における委員選任については、各条例・規則・要綱等によるもの、関連分野における各種団体等からの推薦委員に加え、今年度も引き続き地域労働団体、主要金融機関から委員参画をいただくなど、産官学労金言をベースとした幅広い分野から市民の市政参画への機会推進を図りました。とりわけ総合計画審議会においては、平成30年度より、令和2年度からの第六次総合計画策定のため、例年の10名の委員に加え、特別委員12名を選任いただく中で、市民参画の機会促進を図りました。また、第六次栗東市総合計画、第五次栗東市国土利用計画、第2期栗東市総合戦略、第八次栗東市行政改革大綱、栗東市シティセールス改訂版の策定にあたってパブリックコメントを実施しました。今後も継続して市民が市政に参画しやすい環境整備と機会を設けていくことが必要です。（元気創造政策課）</p>

2) 情報の発信・共有

①市広報やホームページ等による情報発信の充実

取組み名	市広報やホームページ等による情報発信の充実
主な担当課	●：秘書広報課
現状・課題	市広報やホームページ等による情報発信に努めているが、市民にとって分かりやすい情報となっているかを確認しながら情報を発信・公開する必要があります。
推進内容	市民に身近な市広報やホームページ、SNS（Facebook）等を活用し、市民が活用・共有しやすく分かりやすい情報の発信に努めます。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
●広報紙、フェイスブックなど、「うますぎる栗東」を共通理念に、本市への愛着をよりいっそう深めていただくことができるような情報発信を行い、ホームページにおいては、誰もがより見やすく、より分かりやすくなるよう工夫します。ホームページアクセス件数については、年間月平均 50,000 件を目標とします。（秘書広報課）	●広報紙、フェイスブックなど、「うますぎる栗東」を共通理念に、本市への愛着をよりいっそう深めていただけるよう情報発信を行い、ホームページにおいては、発信する情報の見せ方や内容が誰もが分かりやすいよう工夫が必要です。12 月末現在のホームページアクセス件数については、月平均 57,193 件となっています。（秘書広報課）

②市民（市民活動団体等）が交流できる場や機会の充実

取組み名	市民（市民活動団体等）が交流できる場や機会の充実
主な担当課	●：自治振興課 ○：生涯学習課、秘書広報課、商工観光労政課、元気創造政策課
現状・課題	情報の共有や連携の充実が図れていないため、市民活動団体同士や団体と市が対等な立場で話し合える場や機会が必要です。
推進内容	現状のボランティア・市民活動いきいきサポート講座をさらに広げるような、市民活動団体同士の交流や、団体と市が対等な立場で話し合いできる、交流会・意見交換会・学習会等を充実します。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
●成果報告会やサポート講座など助成団体同士が交流できる機会を提供するとともに、市民活動団体やボランティアを対象にした市民学習会を実施します。（自治振興課） ○各講座の受講生が、その成果をまちづくりや人づくりに活かせるよう、講座の内容について、市民や受講生の意見を反映させ、各コミュニティセンター等と連携しながら地域の特性を活かせるような講座を展開します。（生涯学習課） ○協働型フェイスブックの市民記者「りっとうミツケーター」による栗東の魅力発信を進めるため、りっとうミツケーターを対象にブラッシュアップ講座を開催し、市民相互の交流の機会づくりに取り組みます。（秘書広報課）	●元気創造まちづくり事業申請団体（5 団体）および実施団体（4 団体）に対し、市民活動サポート講座を開催しました（8 月、1 月）。3 月にはポスターセッション方式での成果報告会を実施する予定です。また、12 月に開催した市民学習会「人が集まるチラシの作り方 企画～納品まで」では、市民活動団体や市職員など 30 名が参加し、学びとともに交流の機会を提供することができました。情報共有および連携をはかるため、市民ニーズを把握し、より一層の学習、交流の場づくりの充実に努める必要があります。（自治振興課） ○各コミュニティセンターにおいて、はつらつ教養大学、子育て講座、環境講座、まちづくり講座を実施し、市民同士の交流の場と学習の機会を提供しました。（生涯学習課） ○協働型フェイスブックの市民記者「りっとうミツケーター」による栗東の魅力発信を進めるため、「りっとうミツケーター」を対象に 7 月にブラッシュアップ講座として写真講座「魅せ方を学ぶ」を開催し、10 名が参加しました。今後も市民記者「りっとうミツケーター」が継続して活動できるよう、市民相互の交流の機会づくりに取り組みます。（秘書広報課）

②市民（市民活動団体等）が交流できる場や機会の充実（続き）

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>○観光振興関係において、観光物産協会が実施する「栗東観光案内所における休日開所」に際し、来所される観光客対応及び「旧和中散本舗特別公開」時におけるガイドなどを栗東市ボランティア観光ガイド協会と連携する中で、それぞれの事業で役割を担ってもらうなど、市民活動団体としての活動の場面を創出していきます。（商工観光労政課）</p> <p>○引き続き、県内外の企業や大学等の先進的な取組みについて情報収集を行うとともに、継続した連携事業実施に向けた庁内における情報共有を図ります。また、包括協定締結先である龍谷大学との連携事業の中で、幅広く市民（団体）等が意見交換や交流を図れる場の創出について、大学とも検討を進めます。（元気創造政策課）</p>	<p>○栗東市ボランティア観光ガイド協会による観光案内所での対応および旧和中散本舗特別公開等でのガイドで市民との交流が図れ、市内観光施設のPRもできた。また、2月に図書館本館において栗東の観光について講座を実施。（商工観光労政課）</p> <p>○包括連携協定を結ぶ龍谷大学と構成する連携協議会（R2.3月開催予定）等において、大学連携の窓口である龍谷エクステンションセンターとの情報共有に努めました。</p> <p>今後も、引き続き同センターや庁内での情報共有を進めるとともに、他地域における先進事例等について情報収集を行う必要があります。</p> <p>また、同大学との連携事業において可能な範囲で市民（団体）等が意見交換や交流できる機会の創出について検討を進めていく必要があります。（元気創造政策課）</p>

③市民（市民活動団体等）が情報の発信・共有できる機会の充実

取組み名	市民（市民活動団体等）が情報の発信・共有できる機会の充実
主な担当課	●：自治振興課 ○：秘書広報課、生涯学習課
現状・課題	市民活動団体等が、活動に関する情報を発信・共有できる機会が十分ではありません。また、助成金、講座、研修等に関する情報を共有できる機会を増やす必要があります。
推進内容	市民活動情報コーナー等により、市民活動団体等が活動内容の情報の発信・共有できる機会の充実を図ります。また、市民活動団体等が活用できる講座や助成金事業等に関する情報共有の充実を図ります。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>●フェイスブック記事投稿において親しみやすい表現に努める、市民活動情報コーナーにおいて視覚に訴えるデザインやレイアウトなど、市民に興味を持ってもらえるよう工夫します。（自治振興課）</p> <p>○協働型フェイスブックの運営にあたって、市民記者「りっとうミツケター」との協働により、栗東の魅力を発信していきます。（秘書広報課）</p> <p>○地域住民の交流の場として、コミュニティセンターにおける生涯学習情報の受発信を積極的に行います。（生涯学習課）</p>	<p>●市民活動情報コーナーに毎月発行の「まちづくり通信」を掲載し、元気創造まちづくり事業実施団体などの紹介を行いました。また、市内市民活動団体が実施するイベントなどについて情報コーナーを活用した周知啓発に努めました。掲示にあたってはカラー刷りのものを掲示し、市民に気づいてもらえるよう工夫しました。（自治振興課）</p> <p>○協働型フェイスブックの運営にあたって、市民記者「りっとうミツケター」と連携して情報発信し、より栗東の魅力を広められるよう取り組みます。（秘書広報課）</p> <p>○コミュニティセンターと連携し、各講座の情報を発信しました。また、生涯学習団体の情報をホームページに掲載し、積極的に情報発信を行いました。（登録団体 48 団体）年々登録団体が減少してきており、登録団体が増えるよう工夫が必要です。（生涯学習課）</p>

3) 環境づくり

① 活動支援及び組織体制の充実

取組み名	活動支援及び組織体制の充実
主な担当課	●：自治振興課 ○：総務課、財政課、生涯学習課
現状・課題	市民と市をつなぐ中間支援組織・機能が弱いなど、組織体制が不十分であることから、中間支援組織・機能の充実を図る必要があります。
推進内容	市民活動団体等のサポートや相談等、市民と市の調整を行う中間支援組織・機能の充実を図るなど、組織体制を整え、市民と市が活動しやすい環境づくりに努めます。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア市民活動センターに補助金を交付するとともに、センター職員の方に栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金運営委員として参画いただくことで、市民活動団体のサポート、支援の充実に努めます。また、社会福祉協議会としてのボランティアセンターの機能と、中間支援組織の機能を比較、検証し、中間支援組織の強化・充実に向けた方策を検討します。(自治振興課) ○ 専門研修等へ計画的に職員派遣を行い、協働によるまちづくりの推進に向け、職員の育成に取り組みます。(総務課) ○ 市民活動団体や自治会等の活動状況、事業の成果等を鑑みながら、今後の方向性等について、予算編成を通じて検討していきます。(財政課) ○ 各講座の受講生が、その成果をまちづくりや人づくりに活かせるよう、講座の内容について、市民や受講生の意見を反映させ、各コミュニティセンターと連携しながら地域の特性を活かせるような講座を展開します。(生涯学習課) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度より、隔月でボランティアセンター職員との会議の場を設け、中間支援に関する協議と情報共有に取り組みました。また、ボランティアセンター職員に元気創造まちづくり事業の審査委員をしていただくことで、市民活動団体のサポートおよび支援の充実に努めました。(自治振興課) ○ 専門分野研修への派遣(職場外研修)を積極的に行うことで、研修目的達成に向け職員の育成支援に取り組みました。今後も協働によるまちづくり推進のため支援を行います。(総務課) ○ 市民活動団体や自治会等の活動状況、事業の成果等を鑑みながら、今後の方向性等について、予算編成を通じて検討し、必要に応じて予算措置を行いました。(財政課) ○ はつらつ教養大学、子育て講座、環境講座、まちづくり講座において、コミュニティセンターと連携しながら、受講者の意見を反映させ、地域の特色を活かした講座を開催しました。(生涯学習課)

② 市民提案制度の活用・充実

取組み名	市民提案制度の活用・充実
主な担当課	●：自治振興課 ○：財政課、元気創造政策課
現状・課題	市民提案制度に基づき、財政面での援助や活動支援を行っています。また、市民提案制度が十分浸透しておらず、新たな団体からの提案や活用団体を増やすため、制度の周知を図る必要があります。
推進内容	積極的な周知により、市民提案制度の活用促進を図るとともに、制度の課題を検討し、改善に取り組みます。また、制度活用の団体に対し、活動や運営などの相談や情報提供による自立・活性化の支援を行います。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度、全庁的に実施した「協働に関する調査」の結果を踏まえつつ、各方面の意見を聞きながら、市民にとって、わかりやすく利用しやすい制度となるよう制度設計や運用方法を見直します。(自治振興課) ○ 市民活動団体からの提案の審査結果に基づき、成果を踏まえながら、引き続き予算措置を行っていきます。(財政課) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 協働に関する市民意見の聴取について検討しました。令和2年度以降に調査を実施し、市民にも行政にも分かりやすく利用しやすい制度となるよう制度設計や運用方法を見直していきます。(自治振興課) ○ 市民活動団体等からの提案の審査結果に基づき、成果を踏まえながら、引き続き予算措置を行いました。(財政課)

②市民提案制度の活用・充実（続き）

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>○今年度においても、地域活力の創出や人と人の絆を育むために特に選定して推進する「平成 31 年度元気創造事業」19 事業を「市民参画と協働による事業」、「地域資源の有効活用を目指した事業」として位置づけ、事業推進を図ります。（元気創造政策課）</p>	<p>○令和元年度実施の「元気創造事業」全 19 事業中、13 事業（地域資源活用事業との重複事業含む）を「市民参画と協働に関する事業」と位置づけ、各事業の推進を図りました。今後も事業の趣旨に基づき、「市民参画と協働によるまちづくり」に対する行政側の意識を更に高めるとともに、一般事業に移行することとなる元気創造事業についても、市民参画と協働に関する事業として更なる事業推進を図っていく必要があります。（元気創造政策課）</p>

③大学や企業等の多様な主体との連携・ネットワークづくり

取組み名	大学や企業等の多様な主体との連携・ネットワークづくり
主な担当課	●：自治振興課 ○：総務課、元気創造政策課、商工観光労政課、学校教育課
現状・課題	大学や企業等との連携やネットワークが十分でなく、多様な主体との連携やネットワークづくりが必要であります。
推進内容	大学や企業等は協働の重要な担い手であることから、大学包括協定など個々の特性に応じた協定の締結や、積極的な連携に取り組めます。また、市・市民（地域コミュニティ団体・市民活動団体）・大学・企業等の多様な主体との連携やネットワークづくりを図ります。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>●大学連携協定に基づいた連携をはじめとした、多様な主体との連携やネットワークづくりに向け取組みます。（自治振興課）</p> <p>○（公財）大学コンソーシアム京都や龍谷大学とのインターンシップにかかる協定に基づき、連携強化を図るとともに、積極的に様々な大学からのインターンシップ実習生を受け入れ、更なるネットワークの拡大に取り組む、職員の意識改革に努めます。（総務課）</p> <p>○引き続き、県内外の企業や大学等の先進的な取組みについて情報収集を行うとともに、継続した連携事業実施に向けた庁内における情報共有を図ります。 【再掲】平成 29 年度に「包括的な連携協力のもと、様々なまちづくり分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与すること」を目的として龍谷大学と締結した包括連携協定については、今年度においても有効に活用し、大学連携を希望する事業課が円滑に連携事業の展開を図れるよう、大学連携窓口（REC）との調整を行うことと併せ、新たな団体や企業等との連携手法の具体化に向けて、関係課等との調整・検討を進めます。（元気創造政策課）</p>	<p>●コミュニティセンター長会議や自治連合会などをはじめとした地域コミュニティとの対話の機会づくりに努めました。今後、大学や企業等と繋いでいくことで多様な主体との連携やネットワークづくりに取り組む必要があります。（自治振興課）</p> <p>○インターンシップ実習生として申し込みのあった大学生 1 名の受け入れを行いました。積極的にインターンシップ実習生を受け入れることで、学生が就職体験を通じて勤労観や職業観を育む場となり、あわせて、ネットワークづくりにも取り組むことで職員の意識改革にもつながりました。今後も、（公財）大学コンソーシアム京都や龍谷大学とのインターンシップにかかる協定をはじめとし、積極的に様々な大学からのインターンシップ実習生を受け入れることで、学生の就職体験を通じて勤労観や職業観を育む場の提供や更なるネットワークの拡大に取り組む、職員の意識改革に努めます。（総務課）</p> <p>○平成 29 年 7 月に締結した龍谷大学との包括連携協定に基づき、同大学との各種連携事業に取り組まれました。今後も、同大学との連携事業を行う所属への調整およびサポートを自治振興課とともに必要に応じて行います。 また、本市の各種課題解決に向けた一つの手法として、同大学をはじめとするさまざまな主体との連携をより有効に活用できるよう、引き続き民間企業・大学等の連携事例等について情報収集を行うとともに、活用のあり方について検討を行う必要があります。（元気創造政策課）</p>

②大学や企業等の多様な主体との連携・ネットワークづくり（続き）

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>○企業誘致・地域経済振興関係において、県内の企業、行政、金融機関、大学などが参加する近江金石会への参加や経済産業団体会員会合などを通じて、産官学金のネットワークづくりを行うとともに、地元栗東市商工会や栗東企業懇話会などの地域経済団体と連携し、地域経済振興施策に取り組めます。</p> <p>商工振興関係は、栗東市商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画の各種事業を展開するなかで、大学と連携した取り組みを進めます。また、域内調達の拡大に向け、市内企業間のネットワーク作りに取り組めます。（商工観光労政課）</p> <p>○滋賀大学教育学部と栗東市教育委員会が相互協力協定を結び、大学2回生の交流実習、大学3回生の基本実習を受け入れ、その後、学生サポーターとして受け入れます。（学校教育課）</p>	<p>○企業誘致・経済振興関係では滋賀県内の企業、行政、金融機関、大学などが参加する近江金石会（10月、2月開催）の参加などを通じて、産官学金の組織・ネットワークづくりを行いました。また、栗東市商工会等の協力を得て、企業の魅力情報発信事業を開催しました。今後、地域経済団体と連携し、地域経済を活性化していくためのネットワークのあり方が課題です。また、商工振興ビジョンのKPIの一つである空きテナント数の目標値の達成状況について、立命館大学と連携した取り組みとして、空きテナント実態調査において、9月に大学生と共同で現地調査を実施しました。また、域内調達の拡大については、市内企業の連携可能な事業等を掲載するガイドブックの第2版を次年度に向けて作成。（商工観光労政課）</p> <p>○滋賀大学3回生の基本実習で、19名、交流実習で21名の受け入れを行いました。また、基本実習後の学生サポーターとして、3・4回生で、28名の学生を市内小中学校で受け入れています。（学校教育課）</p>

4) 担い手づくり

①担い手の発掘・育成の充実（市）

取組み名	職員研修の実施
主な担当課	●：自治振興課 ○：総務課
現状・課題	これからも職員自身がまちづくりの重要な担い手であるという意識を向上させ、業務に取り組む必要があります。
推進内容	人材育成のための研修等を充実し、市職員の理解促進とスキルアップを図り行動につながるよう、内容を工夫・充実させます。さらに、リーダーとして、市民と対等な形で話し合えるスキルを身につけたファシリテーター※9等の養成を目指します。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>●職員研修を実施し、スキルアップを図ります。（自治振興課）</p> <p>○外部機関主催の専門研修への計画的な派遣や職場研修における取り組みを推進し、職員の意識向上に取り組めます。（総務課）</p>	<p>●龍谷大学政策学部教授の深尾昌峰氏を迎え、「地域が地域でありつづけるために～協働はどこに向かうのか～」と題し、市民参画と協働によるまちづくり職員研修を実施しました。延べ162名の職員が受講し、NPO活動の視点からみた協働などについて学びました。今後、市職員が常に協働の意識を持って日々の業務に取り組めるよう研修の充実が必要です。（自治振興課）</p> <p>○専門分野研修への派遣（職場外研修）を積極的に行うことで、研修目的達成に向け職員の育成支援に取り組めました。今後も協働によるまちづくり推進のため支援を行います。（総務課）</p>

②担い手の発掘・育成の充実（市民）

取組み名	学習会等の開催、市民人材バンクの仕組みづくり；
主な担当課	●：自治振興課 ○：生涯学習課
現状・課題	多くの市民活動団体には、担い手づくりの課題があり、団塊の世代や市民活動団体に所属していない市民へまちづくり活動への参加を促す必要があります。 また、知識や技能等を有する人材の活動を支援する必要があります。
推進内容	学習会等の充実により担い手の発掘や人材育成に取り組みます。また、知識や技能を有する人材を登録し活用する市民人材バンクの仕組みづくりを行います。さらに、その参加者や登録者が情報共有や交流することにより、ネットワークの形成を目指します。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>●元気創造まちづくり事業実施および申請団体を対象にしたサポート講座を開催します。また、ボランティアグループなど市民を対象にした市民学習会を開催し、担い手の発掘に取り組みます。（自治振興課）</p> <p>○人材バンクの共有化と有効活用を図ります。（生涯学習課）</p>	<p>●元気創造まちづくり事業申請団体（5 団体）および実施団体（4 団体）に対し、市民活動サポート講座を開催しました（8 月、1 月）。3 月にはポスターセッション方式での成果報告会を実施する予定です。また、12 月に開催した市民学習会「人が集まるチラシの作り方企画～納品まで」では、市民活動団体や PTA 関係者、市職員など 33 名が参加し、学びとともに交流の機会を提供することができました。情報共有および連携をはかるため、市民ニーズを把握し、より一層の学習、交流の場づくりの充実に努める必要があります。また、生涯学習課と人材バンクの有効活用について協議しました。人材の活用につなげるため今後も協議を重ねながら人材バンクの構築に努めます。（自治振興課）</p> <p>○人材バンク登録者の方に各講座の講師をお願いする等、有効活用を行いました。（登録者 12 人）年々登録者が減少してきており、登録者増への工夫が必要です。（生涯学習課）</p>

5) 市の推進体制

①庁内推進体制の整備

取組み名	市民参画と協働によるまちづくり推進の体制づくり
主な担当課	●：自治振興課 ○：総務課
現状・課題	職員の連携や意識醸成等、全庁的に推進する体制づくりが必要です。
推進内容	市民参画と協働によるまちづくりを推進するための担当者を各課に配置するなど、取り組みの進行管理・検討・研究や協働事業の参画呼びかけ、コーディネート等、全庁的な推進体制を図ります。 また、職員は市民参画と協働の視点を持って業務に取り組みます。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>●まちづくり通信での啓発のほか、協働事業のテーマ募集にチラシを活用するなど、協働の視点をもって業務に取り組めるよう職員の意識向上に努めます。職員同士が気軽にコミュニケーションできる環境づくりや、庁内組織の横断的連携を図り、全庁的な協働推進に繋げていける体制について検討します。（自治振興課）</p> <p>○市民参画と協働によるまちづくりの推進に向け、職員研修年間計画に基づき、集合研修や職場研修を実施し、職員の更なるスキルアップに取り組みます。（総務課）</p>	<p>●月一度のペースで「市民参画と協働によるまちづくり通信」を庁内 LAN に掲載し啓発しました。今後、部長級によるプロジェクトチームの発足など全庁的な推進体制の構築に向けた検討をすすめます。（自治振興課）</p> <p>○職員研修年間計画に基づき、職員のスキルアップに向けたテーマ設定を行い、集合研修や職場研修を年間計画に基づき実施しています。今後においても、集合研修や職場研修を計画的に実施し、市民参画と協働によるまちづくりの推進に向け取り組みます。（総務課）</p>

②市職員の意識向上

取組み名	職員研修の実施〔(4)①の再掲〕
主な担当課	●：自治振興課 ○：総務課
現状・課題	職員自身が重要な担い手であるという意識を向上させ、行動につなげる必要があります。
推進内容	人材育成のための研修等を充実し、市職員の理解促進とスキルアップを図り行動につながるよう、内容を工夫・充実させます。さらに、リーダーとして、市民と対等な形で話し合えるスキルを身につけたファシリテーター等の養成を目指します。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
<p>●職員研修を実施し、スキルアップを図ります。【再掲】(自治振興課)</p> <p>○外部機関主催の専門研修への計画的な派遣や職場研修における取り組みを推進し、職員の意識向上に取り組みます。(総務課)</p>	<p>●龍谷大学政策学部教授の深尾昌峰氏を迎え、「地域が地域でありつづけるために～協働はどこに向かうのか～」と題し、市民参画と協働によるまちづくり職員研修を実施しました。延べ162名の職員が受講し、NPO活動からの視点からみた協働などについて学びました。今後、市職員が常に協働の意識を持って日々の業務に取り組めるよう研修の充実が必要です。(自治振興課)</p> <p>○専門分野研修への派遣(職場外研修)を積極的に行うことで、研修目的達成に向け職員の育成支援に取り組みました。今後も協働によるまちづくり推進のため支援を行います。(総務課)</p>

進行管理

① 各部署における取り組みの進行管理

取組み名	取り組みの進行管理
主な担当課	●：自治振興課
現状・課題	具体的な取り組みを推進する事で、市民意識と職員意識を向上し、行動につなげる必要があります。
推進内容	毎年、各部署で作成の「市民参画と協働によるまちづくり取り組みシート」により、事業の抽出や進捗状況を把握し、P D C Aサイクルにより、取り組み内容を評価・検証（一次評価：各課取り組み状況シート、二次評価：市民参画等推進委員会）し、計画の進行管理と推進を行います。

令和元年度目標(値)と具体的な取組み	令和元年度実績と課題
●市民参画等推進委員会に諮り、進行管理を行います。	●市民参画等推進委員会に諮り、進行管理を行いました。(自治振興課)